

## 私の「職業奉仕」

私は、商売を生業としている家に生まれました。故に「職業奉仕」とは何か、などとは一切考えたことは無く、今まで生きてきました。もちろん、そのポリシーは空気として自分の中に入っていると思います。

今、ロータリーの中で「職業奉仕」が語られ、「奉仕」がサービスと訳されていますが、得てして我々の中での「サービス」とは、料金や物品や行動など目に見えるものが多いわけですが、各人各々が自分の中にしまい込んだものがあると思います。私はお客様相手の商売に生まれ、その為の修行をし、その仕事を生業としています。ということは、「対お客様」を第一に考えることが、その職業をうまくやっていく肝になっています。

様々なことは、その一点に集中して考える、如何に自分や店の中で良しとなっても、お客様に響かなければ何にもなりません。この仕事は自己満足ではダメです。これは言うほど簡単なことではありません。千差万別、最大公約数で物事を考えています、この精神が身に沁みついています。

「こうあるべきだ！」とは行きません。ただ、その中で何かしらのより処を得るのも事実です。

私は、常に自分のことだけでなく、周りの方々を意識して自分の行いが皆さんにとって、何かしらの役に立ったり、喜んでいただいたり、例え商売であっても人様に喜んでもらうことを一番に考える、それが自分に返ってくる、これは奉仕というよりも「輪廻」だと思う。他人のことを考えて行動するのが必ず自分に返ってくる。

理念は人それぞれですのでいろんな人の話を聞いて、自分の考え方の参考にしたり、修正をしたりイノベーションを繰り返して、まだまだ成長して行きましょう！